

令和4年度

しあわせの里福祉会事業報告

社会福祉法人
しあわせの里福祉会

目 次

○ 社会福祉法人しあわせの里福祉会の事業概要	1
○ 障害者支援施設しあわせの里の事業概要	3
I 利用者の方の状況	3
II 利用者の方に対する支援と活動	6
1. 生活介護（日中活動支援）	6
(1) 日 課	6
(2) 食事及び入浴	6
(3) 日 中 活 動	7
(4) 文化・サークル活動	11
2. 施設入所支援（夜間・休日支援）	14
(1) 日 課	14
(2) ゆとりある生活のための支援	14
(3) 社会性を広げるための支援	15
3. 健康管理と保健活動	15
4. 栄養管理と食生活	17
5. 地 域 交 流	19
6. 危機管理と防災対策	19
7. 保護者との連携	21
III 職員の資質向上と職員研修	21
IV 短期入所事業利用者に対する支援と活動	22
V 地域生活支援事業（日中一時支援事業）	22
○ しあわせの里地域交流センターの事業概要	22

社会福祉法人 しあわせの里福祉会の事業概要

法人認可年月日	昭和56年 6月16日
法人設立年月日	昭和56年 6月26日
施設開設年月日	昭和57年 4月 1日
重度棟増設年月日	昭和59年 4月 1日
地域交流センター開設年月日	平成 5年 4月 1日

1、役員及び評議員の構成

理事長	手塚 任	理事	山本 菊太郎
理事	平岡 芳和	理事	石川 好文
理事	楠 博孝	理事	近藤 則行
理事	前田 良夫		
監事	好岡 繁	監事	小倉 眞穂
評議員	廣田 正則	評議員	野口 泰延
評議員	東山 敏雄	評議員	福永 育史
評議員	坂東 良子	評議員	藤川 昇
評議員	永井 多美子	評議員	高橋 千賀子

2、理事会の開催状況

開催年月日	開催場所	出席者	審議事項
4. 6. 6	決議の省略による	理事7名 監事2名	1) 令和3年度事業報告の承認について 2) 令和3年度計算書類・附属明細書及び財産目録の承認について 3) 社会福祉充実計画(案)について 4) 定時評議員会の開催について
4. 12. 23	決議の省略による	理事7名 監事2名	1) 令和4年度収支補正予算(案)の承認について 2) 職員給与規定の一部改正について
5. 3. 17	しあわせの里 地域交流センター	理事6名 監事2名	1) 令和4年度収支補正予算(案)の承認について 2) 令和5年度事業計画(案)の承認について 3) 令和5年度収支予算(案)の承認について 4) 評議員候補者の推薦(案)について 5) 評議員選任・解任委員会の開催について

3、評議員会の開催状況

開催年月日	開催場所	出席数	審 議 事 項
4. 6. 21	決議の省略による	8名	1) 令和3年度事業報告の承認について 2) 令和3年度計算書類・附属明細書及び財産目録の承認について 3) 社会福祉充実計画(案)の承認について

4、従事した職員数

施設長	サービス管理責任者	支援員	看護師	事務員	栄養士	パート職員	協力医	計
1名	2名(兼務)	24名	2名	3名(兼務)	1名	6名	1名	35名

5、令和4年度事業実績

(1) 社会福祉法人の健全経営に向けて

法人経営及び運営管理を適正かつ誠実にを行い、社会の負託に応えられるよう努力しました。

(2) 利用者サービスの充実

利用者の方へ敬愛の念を持ち、一人ひとりの人格を尊重した質の高いサービスを提供すると共に、日常生活環境の整備に取り組みました。

(3) 人材確保と人材育成

適正な労務管理により働きやすい職場環境を整備し、多様な働き方の職員が定着できるように努めました。職場内外の研修に参加することで福祉職員としての資質の向上と責任感のある人材育成を推進しました。

(4) 健康・危機管理への取り組みの強化について

健康管理、高齢化対応、災害対策、感染症対策等の各種リスク対応や予防の強化に努めました。

利用者の方の高齢化や行動障害に対応するため安全・安心に配慮した生活環境の整備を進めました。

(5) 地域貢献活動の充実

地域の各種団体機関等と連携を密にし、積極的に活動に参画し貢献できるように努めました。

6、苦情解決体制

苦情受付担当者	板 東 真 里	(しあわせの里支援係長)
苦情解決責任者	前 田 良 夫	(しあわせの里施設長)
第三者委員	好 岡 繁	(しあわせの里福祉会監事)
第三者委員	小 倉 眞 穂	(しあわせの里福祉会監事)

今年度は、家族からの苦情はありませんでした。

その他、利用者ご本人と保護者の方々からの相談や要望には迅速かつ誠実に対応しました。

障害者支援施設しあわせの里の事業概要

I 利用者の方の状況

しあわせの里は、平成23年4月1日に、障害者自立支援法の新体系（生活介護、施設入所支援）に移行しました。

在園者数は、令和5年3月末現在、施設入所支援を伴う生活介護を利用している方は49名（男性34名、女性15名）、生活介護を単独利用している方は6名（男性5名、女性1名）となっています。そのうち1名の方が他の事業所の生活介護を併せて利用しており、利用に際しての連絡調整や事業所間の連携が必須となっています。

市町村別状況については、6市4町に及んでいます。各市町村との緊密な連携及び連絡・調整が欠かせないものとなっています。

※以下の表内における種別に関して、施設入所支援を伴う生活介護は「施+生」と、生活介護単独は「生活」と表記します。

○ 市町村別入（通）所者状況

種別	市町 性別	市町村										合計
		徳島市	鳴門市	小松島市	阿南市	吉野川市	阿波市	藍住町	板野町	石井町	那賀町	
施+生	男性	12	7	2	2	1	3	3	1	2	1	34
	女性	4	2	0	3	1	1	1	2	1	0	15
	計	16	9	2	5	2	4	4	3	3	1	49
生活	男性	1	0	0	1	0	0	3	0	0	0	5
	女性	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	計	1	1	0	1	0	0	3	0	0	0	6
合計		17	10	2	6	2	4	7	3	3	1	55

施設入所支援を伴う生活介護利用者の方の平均年齢は、男性 51.9 歳、女性 55.1 歳で女性が男性より平均年齢が上回っています。50 歳以上の方が 37 名おり（26 名が男性、11 名が女性）、そのうちの男性 5 名、女性 4 名は還暦を過ぎ、高齢者に対する配慮や支援方法等にも工夫が求められています。

○年齢状況

種別	年齢 性別	18歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳	51歳	56歳	61歳	66歳	合計	平均
		25歳	30歳	35歳	40歳	45歳	50歳	55歳	60歳	65歳			
施 十 生	男性	1	1	0	0	4	3	6	14	2	3	34	53
	女性	0	0	2	0	1	1	3	4	0	4	15	55
	計	1	1	2	0	5	4	9	18	2	7	49	54
生 活	男性	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	5	34
	女性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	35
	計	0	3	0	1	1	0	1	0	0	0	6	34
合計		1	4	2	1	6	4	10	18	2	7	55	

施 十 生	最低年齢		最高年齢	
	男性	25歳	男性	74歳
	女性	32歳	女性	78歳

生 活	最低年齢		最高年齢	
	男性	27歳	男性	52歳
	女性	36歳	女性	36歳

施設入所支援を伴う生活介護利用者の方については、療育手帳の判定では、A-49名(男性34名、女性14名)、B-1名(女性1名)となっています。

また、49名が20歳を超えており障害基礎年金を受給しています。1級-47名(男性33名、女性14名)、2級-2名(男性1名、女性1名)です。

生活介護単独利用者の方については、療育手帳の判定は6名(男性5名、女性1名)全員がAとなっています。障害基礎年金は6名(男性5名、女性1名)が1級を受給しています。

○ 障害の特徴

種別	内容 性別	肢体不自由	自閉性障害	統合失調症	視力障害	聴力障害	てんかん	ダウン症	代謝障害	脳性マヒ	直腸機能障害	脳炎後遺症	合計
		入 所 部	男性	4	15	1	4	2	14	3	1	3	
	女性	1	7	1	2	1	7	1	0	1	0	0	21
	計	5	22	2	6	3	21	4	1	4	1	0	69
通 所 部	男性	0	3	0	0	0	4	0	0	0	0	1	8
	女性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	計	0	3	0	0	0	4	1	0	0	0	1	9
合計		5	25	2	6	3	25	5	1	4	1	1	78

知的障害だけでなく、複数障害を合併している方が多数おられます。

身体障害者手帳を交付されているのは、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方については6名（男性6名）です。

生活介護単独利用者の方については、現在は身体障害者手帳を交付されている方は在籍していません。

在園期間状況では、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方で、満40年の者（開園当初からの利用者）が13名（26.5%）、生活介護単独利用者の方では20年以上の者が2名（33.4%）で、10年未満の者が3名（66.6%）になっています。

○在園期間状況

種別	在園期間 性別	3年未満	3年	5年	10年	15年	20年	合計
			3年 5年 未満	5年 10年 未満	10年 15年 未満	15年 20年 未満		
施設生	男性	1	1	1	2	2	27	34
	女性	0	0	1	2	1	11	15
	計	1	1	2	4	3	38	49
生活	男性	0	1	2	0	0	2	5
	女性	1	0	0	0	0	0	1
	計	1	0	2	0	0	2	6
合計		2	2	4	4	3	40	55

利用前状況としては、施設入所支援を伴う生活介護利用者の方、生活介護単独利用者の方ともに支援学校を卒業して利用するケースが多いようです。

○利用前状況

種別	前状況 性別	家庭	支援学校	入所支援施設	通所支援施設	入所児童施設	その他	合計
	女性	4	3	0	1	4	3	15
	計	5	13	7	9	12	3	49
生活	男性	1	2	0	2	0	0	5
	女性	1	0	0	0	0	0	1
	計	2	2	0	2	0	0	6
合計		7	15	7	11	12	3	55

II 利用者の方に対する支援と活動

人権尊重と権利擁護を支援の基本に位置付け、利用者の方の主体性や意思を最大限尊重し、その人らしい暮らしができるよう利用者の方の目線や立場に立った継続性と一貫性のある支援と長期的な展望を見据えた支援を行いました。

利用者の方の人権に対する意識を強化するため、虐待に関する自己チェックを定期的実施し、支援の見直しや改善を図り、安全確保を優先しました。

さらに、利用者一人ひとりの行動特性を把握し、個々の活動スペースを確保できるようにしました。高齢の利用者の方に対しては安心、安全な日常生活が送れるような環境に配慮し、身体機能を維持するための支援や、運動や趣味を活かした一人ひとりに適した活動を提供しました。

1. 生活介護(日中活動支援)

利用者の方が心身ともに健康で、より豊かな生活が送れるよう支援マニュアルに基づき本人の個性に適したサービスの提供に努めました。また、利用者の方の障害特性を踏まえ、創作活動、生産活動を提供しました。文化・サークル活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施する機会が少なく、オンラインリモート等の今までとは違った形での参加となりました。コロナ禍でも園内外にて身体機能の維持増進と、運動やおやつ作りを行い外出や行事の代わりとなるような活動の提供に努めました。地域住民との交流や社会活動への参加は実施できない状況でしたがオンラインリモートや手紙等で、地域社会との関係を維持、できるように努めました。具体的な支援については次のとおりです。

(1) 日課

(月曜日～金曜日)

9:30	9:45	12:00	13:15	16:30
登 所	テ ィ ー タ ィ ム 活 動	昼 食 ・ 休 憩	テ ィ ー タ ィ ム 活 動	(入 浴) 退 所

(2) 食事及び入浴

食事の際は、感染症対策を行いながら一人ひとりがゆっくりと安全に食事が出来る環境を提供した。集団での食事が苦手な方に対しては居室でゆっくりと食事が出来るよう支援した。入浴は、場所やメンバーを考慮し、過密にならず安全に入浴が出来るよう努めました。

○バイキング

利用者の方の嗜好調査に基づき、利用者の方の希望に添ったメニューを中心に取り入れました。月1回、メイン料理からデザートまで数ある中から選択する楽しい食事になっており、心待ちにされています。

○Aランチ

特別な支援や配慮を要する利用者の方を対象に、男子職員1名と必要に応じた食事支援を行っています。また、対象となる利用者の方を定期的に見直し、より充実した食事支援を行っています。

○平日の昼食

少人数でゆっくりと食事がとれるように昼食時間に幅を持たせています。自分のペースで食事が摂れ、食事支援を要する利用者の方の支援にゆとりを持って行えています。また、それぞれ昼食時間になると各自が判断して自主的に待機できる利用者の方が増えています。

(3) 日中活動

利用者の方の障害特性を踏まえ、各々の目標や目的に合わせた活動の場を提供しました。

今年度も6グループに分かれて活動し、グループ毎に特性に合った生産活動や創作活動を行いました。日中活動が中止となる期間もありましたが、生産活動では利用者個々の能力や特技を活かした作品作りを行い、バザーや道の駅等で商品販売を行いました。創作活動では高齢化による筋力低下を防ぐ運動や、理学療法士によるリハビリを行い、心身ともに健康に過ごせるよう取り組みました。

◎手工芸

今年度は、2年ぶりに2月11日に徳島市障害者福祉展が開催されました。

作品は、「夢工房」「道の駅第九の里」で委託販売を行いました。

販売状況は以下の通りです。

委託先・その他	主な作品	売れ筋
夢工房	・刺し子 (ポーチ、ミニ巾着、手さげ、リュック等) ・アクリルタワシ等	刺し子の手さげ
道の駅 「第九の里」	・マスク、刺し子 (巾着、手さげ、ポーチ) ・アクリルタワシ	アクリルタワシ、マスク
徳島市障害者 福祉展	・刺し子 (手さげ、ポーチ、巾着等) ・縫製作品 ・アクリルタワシ	刺し子の手さげ 縫製作品 (手さげ、巾着)

参加者	男性1名 女性7名
支援内容及び プログラム	(1) 刺し子 (手さげ、巾着、ポーチ) ・生成りの生地を取り入れ色糸の種類を増やす。 ・図柄に合わせた糸を選び刺す。 ・丁寧に刺す。 (2) 刺しゅう (ポーチ、のれん) ・図柄を描く。 ・刺しゅう糸を選ぶ。 (3) 編み物 (アクリルタワシ) ・編み目を作る。 ・丁寧に編む。 (4) ビーズのれん ・好きな色のビーズを選ぶ。
評価	新型コロナウイルス感染症の影響で手工芸の活動を行うことが少なかったが、それぞれが得意なことができるように支援した。 女性1名は同じ作業を繰り返していると、雑になっていたが、他の利用者の方に使用してもらおうという目的で、作品を仕上げると最後まで丁寧にを行うことができ、次への意欲につながった。

◎ 造花

造花は「ちぎり」、「組み立て」、「確認作業」を行っています。

「ちぎり」は、造花材料となるパーツと、バリの部分に分けてちぎっています。「組み立て」は葉や花びら、軸など、それぞれの部品の連結部を見本と同じになるように挿しこんでいきます。「確認作業」は「ちぎり」や「組み立て」が正確に仕上げられているか、不良品や汚れ、ゴミが混ざっていないか確認していきます。材料の大きさや材質により全工程に参加できる利用者の方は少ないですが、それぞれが担い自分のできる工程に参加しました。

参加者	男性4名、女性1名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ちぎり作業 <ul style="list-style-type: none"> ・製品とちぎりカスに分けて正確にちぎる。 ・ちぎり残しやカスが混じっていないか確認する。 ・ゴミの混入やホコリの付着、不良品がないか確認する。 ○組み立て作業 <ul style="list-style-type: none"> ・正確な組み立てを行うと共に、多く仕上げていく。 ・床に落とすことやゴミの混入がないよう適量の材料補充を行う。 ・準備、片付けを自主的に行う。 ○確認作業 <ul style="list-style-type: none"> ・正確な組み立てができているか、汚れや不良品がないか、ごみ等が付着していないか再確認する。 ・最終確認、数量、袋詰めに関しては、必ず職員が行う。 ○清掃 <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミやホコリの混入がないよう作業開始前と終了時に机を拭き、掃除機がけを行う ○運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング（園庭、ドイツ村公園） ○音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・リラックスして作業に取り組めるよう音楽をBGMとして流す。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい材料の納品を心待ちにして、作業に対して意欲的に取り組む。 ・利用者の方も材料の汚れや不良品を理解し、気がつけば選別する。 ・能力に応じて、出来る工程に取り組みながら細かい作業が苦手な利用者の方も積極的に挑戦し、取り組む姿が見られている。 ・作業の間にウォーキング等を行い、身心のリフレッシュを図る。

◎ 園芸

実習地での野菜や花の植え付け、栽培、収穫を支援員と一緒にを行い、収穫物は施設内等で販売しました。また、収穫した野菜を使って調理実習等を実施しました。

参加者	男性 8名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○園芸作業 <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備、耕運、畝作り、マルチ掛け、施肥、支柱立て、水やり、堆肥作り ・除草、生育期管理、収穫 ・種まき、植え付け（ピーマン、茄子、トマト、オクラ、シシトウ、 サツマイモ、水菜、ホウレン草、春菊、大根、ブロッコリー、キャベツ、スナップエンドウ、タマネギ、ジャガイモ） ・花壇の管理（除草、水やり、施肥、移植）

	<ul style="list-style-type: none"> ・種まき、植え付け（百日草、千日紅、サルビア、八重矢車草） ○屋外活動 <ul style="list-style-type: none"> ・園外歩行、樹木の剪定、園庭環境整備、地域清掃活動 ○屋内活動 <ul style="list-style-type: none"> ・収穫物の調理、エコバック作り
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の得意な活動を提供し、意欲的に活動参加ができるよう支援を行った。 ・野菜の苗・種を利用者と一緒に購入することから始め、全ての工程においてみんなで力を合わせて野菜を育て、達成感を味わってもらえるよう支援を行った。 ・コンポストを実習地に設置し、堆肥を自作して野菜の栽培に活用する。 ・収穫した旬の野菜は、支援員と一緒に調理し、おやつ時間などに利用者全員に美味しく食べてもらうことができた。 ・近隣の保育園児との交流は、コロナ禍の影響で実施には至らなかったが、収穫したタマネギやサツマイモを届けた。また、お世話になっているご近所の方に収穫した野菜を届け、地域とのつながりを持てるように努めた。

◎ 加工

近隣の野山や川原、沿道で採取した材料を中心に加工して、「よもぎ」、「どくだみ」、「みかん」の入浴剤づくりに取り組みました。

参加者	男性6名、女性1名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ よもぎ入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・よもぎの採取、天日干し、陰干し、乾燥 ・裁断、枝折り ・選別、粉砕 ・計量、パック詰め、シーリング、袋詰め ・外装、カード印刷 ○ どくだみ入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・どくだみの採取、天日干し、陰干し、乾燥 ・選別、裁断、粉砕 ・計量、パック詰め、シーリング、袋詰め ・外装、ラベル印刷 ○ みかん入浴剤づくり <ul style="list-style-type: none"> ・材料の乾燥、粉砕 ・計量、パック詰め、シーリング、袋詰め ・外装、ラベル印刷 <p>※各入浴剤作りの工程表を作成。</p>
評価	<p>利用者の方々が落ち着いて作業に参加できるように作業内の環境づくりに配慮した。また、各種材料の確保については、よもぎ・どくだみ共に材料確保ができず欠品が続く顧客に十分販売することが出来なかった。みかんについては、在庫の確保が出来た。次年度は十分な材料確保を行い販売できるように努める。</p>

◎総合生活支援

地域交流センター多目的ホールを利用し、利用者一人ひとりの能力や体調に配慮しながら目標に応じた支援を行う。

参加者	男性12名、女性3名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○ 屋外活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩行……ドイツ村公園、ドイツ館、大麻比古神社、板東谷川堤防、リュウネの森、極楽寺、ばんどうの鐘、菩提樹の森、グラウンド ・ ドライブ……ウチノ海公園、鳴門スカイライン、小松海岸、月見ヶ丘海浜公園 ○ 屋内活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホール内歩行、階段昇降、ラジオ体操、マッサージ、ストレッチ、キャッチボール、フライングディスク等を使用した身体活動 ・ 各種教材……ペグ、ブロック、パズル、文字書き、国旗カード、絵描き、塗り絵、シールはがし等 ○ 生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 身支度……靴、帽子、上着の着脱、整理整頓、収納 ・ 清潔……手洗い、消毒、着替え ・ 排泄……排泄の支援と記録 ・ 環境整備……活動の準備、片付け、清掃、室内換気、清掃
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響により活動中止の期間があった。 ・ 屋外活動では、脚力の維持や強化を目標として、長距離歩行や山道コース等の歩行を積極的に実施した。また各利用者の健康状態や気候などに配慮しながら、短距離歩行や、ドライブなども実施した。夏場は熱中症予防のため、屋外歩行後に、アイスや水分を補給したが、同時に利用者の楽しみとなった。 ・ 桜や銀杏などがある場所へ歩くことで、四季折々の変化を感じられるように取り組んだ。 ・ 屋内活動では、ホール内歩行、ストレッチ、キャッチボール、フライングディスク等の軽運動を行い、体力や健康の維持に努めた。また利用者ごとに応じたペグやパズル、文字書き等の活動を提供して個別支援を行った。その際パーテーションや個別の机を使用することで、落ち着いて取り組める空間を提供した。

◎なごみ

コロナ感染予防の為、人と人の距離が広く取れる食堂で様々な活動内容を用意し、得意なことに取り組めるよう行っています。

参加者	男性7名、女性4名
支援内容及びプログラム	<ul style="list-style-type: none"> ○屋内活動（各種教材） <ul style="list-style-type: none"> ・ ペグ、ブロックつなぎ、パズル、文字書き、ビーズ通し、絵画、塗り絵、オセロ、音楽鑑賞等 ○編み物（アクリルタワシ、リリアン） <ul style="list-style-type: none"> ・ 毛糸の色を選ぶ。 ・ 編み目を数えて作る。 ・ 編み目を落とさないように編む。 ○運動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ウォーキング（園庭、ドイツ村公園、ドイツ館） ・ 室内歩行、階段昇降 ・ 足の筋トレ体操、 ○造花作業

	<ul style="list-style-type: none"> ・ちぎり作業、組み立て作業を行う。 ○各展示会の見学 (エナジー展、鳴門市文化展) ○動画視聴 ・パソコンを用いてYouTubeで利用者の方が興味のある動画を視聴。
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の得意なことや興味あることに集中して取り組むことが出来た。また、建物内や屋外歩行をすることで気分転換や健康維持に図る。 ・園内の装飾品づくりやエナジー展等に共同作品を出展することが出来た。活動に熱心に取り組むことが出来ており、今後も個々の長所を活かして活動が出来るよう支援する。 ・人と人との距離を取り、定期的な換気や消毒を行い、新型コロナ感染予防に努めた。また、日光浴を行い、免疫力を高めることに努める。

◎ 作業工賃の支給

作業収益金は全額還元を原則としています。今年度は2,600円を全利用者に支給しました。

(4) 文化・サークル活動

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により実施回数は少なくなりましたが、収束期間中は各サークル活動に参加しました。絵画、習字サークルは作品展にも出展し多くの方に、日頃の成果を見てもらい、園内サークルも日々技術の向上に努め、サークル活動を楽しまれました。

◎ 習 字

季節に合わせた言葉等を利用者の方の個性を活かした字体で書いて楽しんでいます。園内に掲示して、他の利用者の方に見てもらい、秋に開催の作品展等に出展するため、支援員と一緒に習字の練習をしました。

参加者	男性1名、女性2名、希望者
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・準備、後始末の方法 ・正しい姿勢と筆の持ち方 ・筆の扱い方 ・漢字の読み方、筆順 ・字形の取り方
評 価	個性を生かした字体の作品を書く習字を行っている。季節の言葉や好きな食べ物など、思い思いの言葉を文字にした字体は味があり躍動感あふれた作品となっている。一人ひとりの名前の落款印を作品に押し付けて各種作品展に出展している。

◎ 絵 画

今年度はコロナの感染流行により絵画教室に通うことが出来なかったことで、園内での作品作りを行い各作品展に出展した。

指導者	河野 公子氏
参加者	男性5名 女性1名

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・画題 静物（花、野菜、果物、置物など） 抽象画 人物画 模写（画集や絵本、写真を見て描く） ・発表の場 エナジー展、鳴門市人権文化展、アーティストの卵、鳴門市人権文化祭 ・展覧会の見学
評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方の個性を尊重した指導方針により、のびのびと楽しく描くことで、個性的な作品が描けている。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響により、絵画教室に通えなかったため、園内で作品作りを行なった。 ・各種展覧会については新型コロナウイルスの影響により「しあわせの里展」、「スロ―リーライブ・ユニバーサル芸術祭」は中止となる。

◎ 調理実習・おやつ作り

9名のメンバーが調理実習とおやつ作りのグループに分かれて、調理を行い、作った料理を楽しみました。

季節や行事に合わせて、手作りおやつを作り、盛り付けて提供し、利用者の方全員に食べていただきました。

参加者	男性4名 女性5名
内 容	<p>6月 (おやつ) 豆腐のチョコムース 梅シロップ作り</p> <p>7月 (おやつ) 七夕ゼリー (献 立) 流しそうめん・天ぷら</p> <p>8月 (おやつ) 梅シロップかけかき氷</p> <p>9月 (おやつ) 焼きドーナツ (おやつ) さつまいもタルト</p> <p>10月 (おやつ) マシュマロぜんざい (さつまいも入り)</p> <p>11月 (献 立) かぼちやのカレーライス</p>
内 容	<p>11月 (おやつ) むらさきいものモンブラン (おやつ) クレープ (チョコバナナ・ピザ)</p> <p>12月 (献 立) カレー鍋・おにぎり・さつまいもアイスクリームのせ</p> <p>2月 (おやつ) ワッフル・マシュマロビスケット (献 立) カレー鍋ラーメン・おにぎり・アイスクリームフルーツのせ (献 立) すき焼き・オニギリ</p> <p>3月 (おやつ) 3色ムース</p>

評 価	<p>昨年に引き続き今年度も、梅シロップ作りをした。食紅で色付けすることで視覚で分かりやすくした梅シロップをかき氷にかけ、利用者の方に提供した。その他にも、保護者から頂いた野菜を使用しておやつを作り、利用者の方全員に食べてもらう機会をもった。</p> <p>感染症予防に配慮しながら、利用者の方の希望するメニューを調理し、他の利用者を招待することで楽しい食事の時間を過ごすことが出来た。</p>
-----	---

○ 年間行事等への参加状況 新型コロナウイルスの影響でイベントへの参加が減少しました。

月別	行 事 名
4月	・開園記念昼食会 ・お花見
5月	・一泊キャンプ
6月	・映画鑑賞会 ・鳴門市文化展
7月	・七夕 ・花火大会 ・一泊キャンプ
8月	・月見のお茶会 ・ドイツ兵慰霊碑清掃
9月	・オンラインワークショップ ・「障がい者アーティストの卵」発掘展
10月	・秋祭り ・エナジー展 2022
11月	・鳴門市人権文化祭（川崎会館）
12月	・クリスマス食事会（園内） ・冬期帰省
1月	・新年のお茶会
2月	・節分(豆まき) ・徳島市障害者福祉展
3月	・ひなまつり ・一年のまとめ（ふれあい昼食会）

〈3〉誕生会

毎月、ケーキや飲物を準備し、その月の誕生日の利用者の方をお祝いする誕生会をしています。今年度は感染症予防で密にならないよう配慮し実施しました。

〈4〉余暇の提供

個々の希望に応じた雑誌やDVD、CD、パズル、塗り絵などを購入して余暇時間を過ごしています。また、録画したTV番組を見たりして充実した余暇が過ごせるよう配慮しました。それぞれの方が楽しめるような内容の余暇を考え、提供しています。

〈5〉社会性を広げるための支援

○ 余暇活動

利用者の方の希望をききながら、外出を計画し、少人数で実施しました。

参加者	利用者49名
内容	※回数・参加人数(延べ数) ・ドライブ……24回、110名 ・ショッピング……8回、30名 ・喫茶、食事…26回、93名 ・その他………30回、104名
評価	感染症の流行により外出回数は減少傾向にあったが、県内の感染症が少ない時期には感染症対策を行い、ショッピングや外食を実施した。人混みを避けての外出が多くなってしまったが、職員も利用者の方に楽しんでもらえるよう屋外の外出先をピックアップし、利用者の方の希望や目的に沿った外出を実施出来ていた。

3. 健康管理と保健指導

日々の検温と日常生活の観察を通して、個々の健康状態の把握に努めました。

日常的な感染予防対策として、手洗い・うがい・手指消毒・棟内消毒清掃を実施することでインフルエンザ・ノロウイルス・新型コロナウイルスなど感染症の予防、蔓延防止に努めました。

(1) 健康診断の実施

健康診断、各種検診を計画、実施し、疾病の早期発見に努めました。

また、口腔の不衛生により、様々な疾病や感染症などにもつながっていくこともあるので、口腔ケアの必要性・重要性を考え、定期的な歯科検診・歯科医師会による診療の巡回健診、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施しました。

(2) 各疾病の治療

慢性疾患の利用者については、定期的に受診し検査を受ける事で、疾病の状況を把握することができます。医師による生活指導や医療相談を通し、協力医とスムーズに連携を図ることができました。

(3) 環境衛生と保健指導

日頃からの手洗い・うがい・手指消毒の励行に努め、常にマスクの着用を行っています。(一部着用困難な利用者を除く。)また、園内外・居室の清掃や消毒、季節に応じた衣類交換、寝具干し等、基本的な日常生活の環境衛生を心がけました。

(4) 生活習慣病対策

定期的に体重測定や血圧測定を行い、また、必要に応じて血液検査を受ける事により、健康状態を把握し、医師や栄養士と相談・指導の下、生活習慣病の予防に努めました。

(5) 加齢に伴う機能低下について

食事の際、嚥下に問題がある利用者については食事形態を変更するなどして、むせる事が少しでも減らせるように考えました。

(6) 保護者との連携

継続的に服用中の内服変更時は、速やかに情報提供を行い、理解が得られるように努めています。場合によっては、協力医から直接説明をしてもらう事もあります。抜歯・検査等については、保護者に早急に連絡を取り、事情を説明して了承を得る事ができました。

○月別通院状況

月別 科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
内 科	13	6	4	16	5	11	8	5	4	20	4	6	102
精神・神経科			2		1	1						2	6
外 科		2	3	9			3	1	1	2	2	2	25
整形外科	4	2	7	1	5	4	5	1	4	1	3	3	40
耳鼻咽喉科	5		1	2		1							9
歯 科	18	8	26	17	15	17	17	17	18	15	24	13	205
婦 人 科				7	1							1	9
眼 科	2				2		2		3	3			12
皮 膚 科	3			1	2	2	3	3			5	2	21
泌尿器科			4				4		4			4	16
そ の 他		1		3				1		1			6
計	40	19	46	54	31	37	42	28	34	42	40	33	446

○月別保健活動

4月	園内検診	10月	園内検診
	細菌検査		細菌検査
	棟内消毒		棟内消毒
5月	園内検診	11月	園内検診
	細菌検査		細菌検査
	棟内消毒		ブラッシング指導
	害虫駆除		棟内消毒
6月	園内検診	12月	園内検診
	細菌検査		細菌検査
	健康診断		棟内消毒
	眼科検診		インフルエンザ予防接種
	皮膚科検診		コロナワクチン接種
	害虫駆除		
7月	園内検診	1月	園内検診
	歯科検診		細菌検査
	細菌検査		棟内消毒
	棟内消毒		コロナワクチン接種
8月	園内検診	2月	園内検診
	棟内消毒		細菌検査
	細菌検査		棟内消毒

9月	園内検診	3月	園内検診
	細菌検査		細菌検査
	ブラッシング指導		棟内消毒
	コロナワクチン接種		
	棟内消毒		

○入院治療

医療機関名	病名	入院期間
東徳島医療センター	鼠径ヘルニア手術	R4.5/30~5/31
南海病院	肺炎	R4.6/24
中央病院	発熱、救急搬送、誤嚥性肺炎	R4.6/25~7/8
東徳島医療センター	ストーマヘルニア手術	R4.11/1~11/8

4. 栄養管理と食生活

利用者の方の身体状況や生活習慣等を把握し、栄養状態の維持や改善を図りながら、これらに考慮した食事の提供と栄養管理ができるように努めました。

(1) 献立作成

利用者の方の嗜好に合わせながら季節感や彩りを考慮し、適切なエネルギー量及び不足しがちな各種栄養素を強化した献立を給食委託業者と共に作成しました。

また、献立名や主な栄養成分を記載した献立表を掲示して、食に関する情報を利用者の方へ提供しました。

(2) 調理業務と食材の管理

調理開始時間や調理器具、食材の検収、保存食等の管理を正確に実施し、給食委託業者との日々の連絡を密にしながら安心して安全な調理業務を依頼しました。

(3) 衛生管理

食中毒等の給食事故防止のため、調理従事者の衛生意識の向上や拭き取り検査、厨房内外の衛生管理を徹底し、衛生管理マニュアルに基づいた点検表の記録の整備も確実に行いました。

(4) 食事環境

感染症対策をした上で、少人数での食事が食堂で摂取できるよう工夫し、ゆっくりとした環境の中で楽しみながら温かい食事が摂れるよう配慮しました。

(5) 食事委員会

他職種と給食委託業者を交えた食事委員会を開催し、食事に関する諸問題を検討・改善し、食環境を整備しました。また、利用者の方の希望を取り入れた、毎月のバイキング、おやつなどの提供、またきせつに応じた行事食等を実施し、食事が楽しみになる機会を増やしました。

(6) 栄養ケアマネジメント

医師の指示による食事箋を基にした療養食や、個々のニーズに応じて食事の量の調整やアレルギー食、咀嚼・嚥下等口腔機能に合わせた食事形態やトロミ食、介助器具等、身体状況・栄養状況や特性を理解し、他職種と協働しながら栄養ケア計画に基づき、栄養管理と食事支援をすることで、利用者の方の食生活の質の向上に努めました。

令和4年度・栄養価算定表（月別）

月	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	レチノール活性当量	VB1	VB2	VC	食塩	炭E比	脂E比	動蛋白比
	kcal	g	g	mg	mg	μg	mg	mg	mg	g	%	%	%
4	2012	76.9	56.6	643	13.1	778	2.04	1.15	121	9.1	59.4	25.3	52.1
5	1958	75.2	53.6	634	11.5	810	2.00	1.16	110	8.9	60.0	24.6	52.0
6	1947	76.1	51.1	622	12.7	753	2.04	1.11	111	8.8	60.8	23.6	52.7
7	1942	76.6	51.9	619	12.6	829	2.01	1.16	105	8.8	60.1	24.1	54.0
8	1954	76.6	53.4	627	13.2	756	2.05	1.19	113	8.7	59.7	24.6	52.9
9	1935	74.5	54.4	670	12.7	803	2.04	1.17	112	8.8	58.2	25.6	52.1
10	1926	73.7	52.5	652	10.1	801	1.23	1.19	112	9.0	60.2	24.4	53.3
11	1896	77.5	53.3	659	13.0	804	2.12	1.16	119	8.7	58.3	25.3	52.4
12	1894	75.6	51.8	649	12.8	750	1.99	1.14	118	9.0	58.4	26.4	53.2
1	1910	77.3	55.1	622	13.1	758	2.00	1.11	110	9.1	57.8	26.0	53.3
2	1907	78.2	55.7	643	12.4	759	2.02	1.20	109	9.4	57.3	26.3	52.8
3	1887	78.0	53.6	640	12.9	779	2.03	1.17	111	9.2	57.9	25.6	53.7
合計	23107	919.5	643	7680	150.1	9380	23.57	13.91	1351	107.5	708.1	301.8	634.5
平均	1926	76.6	53.6	640	12.5	782	1.96	1.16	113	9.0	59.0	25.2	52.9

令和4年度・摂取食品量（月別）

食品群名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
	穀類	米	213	207	208	212	209	208	216	209	203	214	209	211	2519
パン		20	21	26	21	17	22	27	21	22	21	23	23	264	23
穀類		28	30	23	28	26	28	15	19	29	22	21	27	296	25
他・穀類		6	4	4	5	7	8	8	6	7	8	8	6	75	6
芋類	さつまい	10	6	11	7	10	15	7	14	13	4	12	6	115	10
	じゃが芋	32	36	30	24	26	22	26	27	27	23	25	29	327	27
	他の芋類	23	26	25	19	29	29	29	30	30	36	30	26	332	28
	芋加工品	3	3	3	3	2	2	3	4	2	3	2	3	33	3
豆類	大豆製品	56	58	52	56	61	59	54	65	43	52	52	49	657	55
	他の豆類	6	5	3	4	8	4	7	8	6	7	9	5	72	6
	みそ	20	16	20	19	20	18	17	19	18	18	19	18	222	19
野菜・果実類	緑黄野菜	165	166	155	165	161	162	158	164	148	149	146	151	1890	158
	他の野菜	245	243	249	252	252	244	253	252	246	238	257	268	2999	250
	乾燥野菜	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
	つけもの	8	8	5	5	7	4	6	4	6	9	7	7	76	6
	柑橘類	14	15	9	10	9	12	18	23	29	24	13	16	192	16
	他の果実類	21	15	20	27	16	22	21	21	16	19	18	21	237	20

	加工品	19	10	7	7	10	7	15	12	11	13	7	6	124	10
	きのこ類	16	21	17	13	16	23	17	15	17	15	16	16	202	17
	藻類	4	4	7	5	10	4	6	6	5	6	5	4	66	6
動物性食品	魚介類	47	50	40	46	53	55	46	51	49	46	54	55	592	49
	干・缶・塩	8	4	9	13	10	9	5	9	7	10	7	9	100	8
	練り製品	15	14	15	20	16	14	19	15	18	19	18	17	200	17
	肉類	78	76	85	74	74	68	75	73	72	79	71	75	900	75
	加工品	12	12	11	8	7	10	8	8	11	11	10	9	117	10
	卵類	23	24	24	28	26	29	30	28	29	31	33	30	335	28
	牛乳	205	204	209	200	205	212	202	203	209	191	208	207	2455	205
	乳製品	6	7	4	6	9	5	4	7	7	4	10	6	75	6
	砂糖	7	7	6	7	7	7	7	8	8	9	8	8	89	7
油脂類	種実類	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	14	1
	油脂類	8	6	6	6	6	5	6	7	5	6	5	6	7	6

5. 地域交流

施設と地域との交流を推進して、利用者の方の生活水準の向上と安定に努め、施設のサービス機能の提供と充実をはかり地域貢献に努めました。今年度は、地域の学校や各種団体との交流については、新型コロナウイルス感染症により大幅に中止となりました。

- (1) 施設プログラムへの地域の人々の参加
(新型コロナウイルス感染症対策により中止)
- (2) ボランティアの導入
(新型コロナウイルス感染症対策により中止)
- (3) 利用者の方による社会活動及び地域行事への参加
○ドイツ兵慰霊碑及び賀川豊彦記念館の清掃、近隣道路の除草、ゴミ拾い
(その他については新型コロナウイルス感染症対策により中止)
- (4) 福祉教育の推進
(新型コロナウイルス感染症対策により中止)

6. 危機管理と防災対策

消防法や関係諸法令に基づき、しあわせの里消防計画、しあわせの里地震防災応急計画等を策定し、大規模災害や事故等から利用者の方及び職員の生命を守るため各種防災訓練を実施しました。

また、災害や事故を未然に防ぐように、建物・消防設備の自主点検や専門業者による保守点検や修繕に努めました。

大規模災害時における事業を継続するための計画として「しあわせの里事業継続計画」に基づき、緊急時の対応方法等について全職員に周知、防災意識の向上に努めました。

- (1) 危機管理
 - ①事故等の発生について、事故報告書を作成し、発生状況や要因、対応結果等について分析、必要に応じて改善や業務の見直しを図りました。
 - ②ヒヤリハット報告については、事故等の発生には至らなかったが、事故になる確率が高く、原因等について周知することでヒューマンエラーを少なくするようにしました。
- (2) 防犯対策
夜間、休日等に定期的に巡回を実施し、防犯カメラ等の設備と併せて不審者等への対応を図りました。

(3) 防災対策

①防災訓練の実施

主に火災を想定した訓練を実施しましたが、出火場所や発生時間について異なった想定をすることで、より実効性のある訓練に努めました。あわせて非常通報装置を使用した通報訓練、救護訓練、消火訓練を含めた総合訓練を行いました。

鳴門市消防本部職員の派遣を依頼し、訓練内容や防災の心構えなどについてお話をいただきました。地震対応訓練では、緊急地震速報を音源にして、安全姿勢の保持、安全な場所への移動について、利用者の方や職員が再確認しながら実施しました。

月別	訓練内容	月別	訓練内容
4月	避難	10月	避難
5月	避難(休日想定)	11月	総合(通報・消火)
6月	避難(浸水想定)	12月	避難
7月	避難	1月	避難(夜間想定)
8月	避難(夜間想定)	2月	総合(通報・消火)
9月	総合(通報・避難・救護)	3月	避難(地震)

②定期点検の実施

消防用設備及び非常通報装置、パッケージ型自動消火設備は保守点検契約業者による定期点検を行い、不良箇所があった場合には取替等を行いました。

また、月1回建物内外の安全点検と消防用設備等の自主点検を職員が行うことで、機能や操作方法について習得を図りました。

③防災教育の推進

年度当初に安全対策、防災計画等に関する文書を全職員に配布し、周知徹底を図るとともに、防災意識の向上に努めました。

防災に関する研修会はZ o o mによるリモート研修に参加し、防災力の向上に向けて取り組みました。

④地震対策

地震発生時の事故を防止するため、各居室の家具固定や安全に避難できるよう避難経路の確保について対応を図りました。また、被災した際に適切な対応ができるよう生活用品や食料等の備蓄品、非常自家発電設備等の整備、点検、交換を行いました。ライフラインの途絶した場合を想定した、炊き出し訓練や各種機器の操作方法について実践を行いました。

⑤感染症対策

新型コロナウイルス対策について、行政からの情報を周知し、施設内の清掃、消毒、利用者の方へマスク着用、手洗い、手指消毒を日々行い、予防に努めました。

また、各種情報を参考に新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し職員に周知、保護者等への協力依頼、新型コロナウイルス感染予防対策用品備蓄庫を設置し、棟内3ヶ所に備蓄置場を設置、体制の強化に努めました。様々な場所で発生を想定した訓練を行い、防護服やフェイスシールドの着用ゾーン分け等対応力向上に努めました。

害獣駆除について、適切に実施することにより、害獣による感染症の防止に努めました。

⑥BCP（事業継続計画）について

直接的に被災した場合やライフラインの途絶により業務に支障をきたし、施設機能が十分に活用できない場合に備えて、影響を最小限に抑えて、速やかに業務が復旧できるよう必要に応じて、BCPの見直しを行ない、職員に周知しました。

7. 保護者との連携

保護者と施設が連携し、相互の理解を深め、利用者の方の立場に立った支援を行うよう努力しました。

(1) 月だよりの発行

毎月「しあわせ」を発行し、利用者の方の生活、活動状況、行事等について周知しました。

(2) 家族会の開催

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により10月と3月の2回の実施となりました。

○家族会参加状況

出席状況	月別	10月	3月
	出席者数	30名	30名

(3) 施設行事への協賛

- ① 40周年記念行事（6月）
- ② 秋まつり（10月）
- ③ 一年のまとめ（3月）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の方のみで実施。

(4) 家族会単独事業の実施

園内清掃（5月16日、8月24日、11月17日、2月15日 外部業者委託）

III 職員の資質の向上と職員研修

支援員としての専門的な知識の獲得に努めました。重度高齢化に対してきている利用者ニーズの追求と共に専門的な食事ケアの研修及びスキルアップを目指しました。また、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の予防方法についての研修。アンガーマネジメント研修を実施し、少人数でのグループワークなどコミュニケーションをとる機会をつくることで、虐待防止に向けた業務の向き合い方や働きやすい環境づくりに対しても取り組んでいきました。

また、各種実習の受け入れも行っており、社会福祉に貢献できるよう努めました。

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種機関が主催する研修会についてはweb研修が中心であったが、会場に出向いての研修（集合研修）にも参加しました。

1. 職員研修

(1) 園内研修

- ・感染症予防、食事支援と嚥下機能
- ・新人職員研修
- ・自己チェックシートによる課題分析やグループワーク
- ・虐待防止、身体拘束、アンガーマネジメント
- ・各種委員会による検討会議
- ・web動画によるオンライン研修

(2) 園外研修

- ・徳島県社会福祉協議会、徳島県知的障害者福祉協会及び近隣施設や県外などの各種機関が主催する研修会への参加

2. 施設実習

- ・鳴門教育大学附属支援学校、四国大学（保育、音楽）

IV. 短期入所事業利用者に対する支援と活動

短期入所事業について、日中生活介護を利用されている方の保護者が、家庭等の事情により夜間介護等が行えないため利用できるように体制を整え、サービス提供を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延べ利用 件数・人数	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	7
利用実人数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
利用日数	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	4	7

V. 地域生活支援事業(日中一時支援事業)

支援実施市町村と業務契約を結び、日中一時支援を行いました。令和4年8月に4件の利用がありました。

「しあわせの里地域交流センター」の事業概要

「しあわせの里地域交流センター」は、利用者の方の日中活動や様々な行事、定期実施している運動教室や文化活動等に利用し、利用者の方と地域の方々との交流の場として活用されています。

地域の方々には、自治会の行事やサークル活動の場として利用していただき、施設を持つ機能を提供することで、地域社会に貢献しています。

1、利用の状況

利用区分	延べ利用件数	延べ利用人員	主な利用内容
保護者活動	3	80	家族会
地域活動	0	0	
交流活動	0	0	
社会参加	0	0	
各種研修	3	6	四国大学施設実習 支援学校実習
各種会議	2	12	役員会等
合計	8	98	

2、広報活動

しあわせの里が発行している機関紙「しあわせ」に利用状況を掲載し、地域交流センターの活用内容について報告しました。